





協定項目	関係項目
<p>新町建設計画</p> <p>土地利用</p> <p>新町は、平坦部の農用地地域と自然環境に恵まれた周辺部で構成されています。今後の土地利用においては、自然的、社会的、経済的及び文化的な諸条件に十分配慮し、都市的土地利用と農業的土地利用、自然的土地利用の調和を図りながら、適正かつ計画的な土地利用に努めるものとします。また、今後の道路整備計画の具体化など情勢の変化に的確に対応することとします。この方針を実現するため、新町の国土利用計画の策定を始め、土地利用関係諸法の適切な運用を図ることとします。新町においても、地域の均衡ある発展を促し、地域間格差が生じないように地域の個性・特性を土地利用に反映させることを基本とします。</p> <p>地域別整備の方針</p> <p>白石・福富・有明3町はそれぞれ独自の文化・歴史を持っており、その地域性についても十分考慮する必要があります。そこで、合併前の各町施策との連続性・継続性を十分に踏まえ、各地域特性を生かした振興策を推進するため新町全体を次の4つのゾーンに区分します。</p> <p>【ゾーニングの策定】</p> <p>「人ともとのにぎわいゾーン」 店舗等の集積が進み、公共施設や住宅が集中し、生活拠点地域を形成しています。広域幹線道路である国道・県道の改良整備を進め、商業機能の強化を図るとともに、下水道の整備など魅力ある居住環境の提供に努めます。</p> <p>「食とくらしの快適ゾーン」 県内でも指折りの農業地帯であり、今後ともブランド化や高付加価値化が進み、新町の基幹産業として重要な役割を果たすことが期待される地域です。農業の活性化に努めるとともに自然あふれる田園風景を守りながら、道路、下水道などの生活環境・住環境の整備に努めます。</p> <p>「まえうみ(有明海)とのふれあいゾーン」 六角川等河川の保全など有明海の再生を図りつつ、恵まれた「まえうみもん」(有明海の資源)と自然環境を最大限に生かした水産業の振興に取り組みます。また、有明海沿岸道路の整備を促進し、都市との交流を図り、干潟を活用した体験型観光を展開していきます。</p> <p>「古代ロマンの歴史・文化ゾーン」 杵島山周辺に存在する遺跡や歴史的文化財の保護・保存に努め、だれもが歴史と文化に親しめる環境づくりに取り組みます。また、この遺跡や歴史的文化財を観光資源としてネットワーク化し観光地としての魅力の増大に努めます。</p>	<p>新町まちづくり計画(新町建設計画) 新町建設の基本方針</p> <p>地域間格差が生じないように地域の個性・特性を生かすことが重要</p> <p>広域的に見て地域の土地利用がどのようになされたら新町として一体的発展ができるのか、良好な生活環境が維持できるのかということを考慮</p> <p>人ともとのにぎわいゾーン 食とくらしの快適ゾーン まえうみ(有明海)とのふれあいゾーン 古代ロマンの歴史・文化ゾーン</p> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 県道 町道 有明海沿岸道路 JR線路